

子どもものむし歯予防へ

小中学校にフッ化物洗口の導入を上

川崎市議会議員 野田まさゆき 自民党

1970年スタート
全国に急速に普及

12月議会では、川崎市内
の市立小中学校における
「フッ化物洗口」の導入につ
いて、質問に立ちました。

フッ化物洗口は、むし歯
予防に効果のある適正濃度
のフッ素の水溶液でブクブ
クうがいをする方法です。
昭和45年に新潟県弥彦村の
小学校で初めて開始。その

後、洗口を実施している学
校に通う児童生徒のむし歯

を予防していることから歯科
保健施策の一環として普及
されてきました。平成15年

川崎市では保育所や幼稚
園で希望する施設への支援
を行い、保育所では歯磨き

指導の一環としてフッ化物
洗口の励行を進めています。

昨年9月の代表質問で健
康福祉局長が「永久歯の奥
歯が生える頃から開始し、
長期間継続することによ

り、確実な予防効果が得ら
れる」と答弁。そうである
なら、小中学校での実施も

重要であるはず。川崎
市歯科医師会では平成24年

から26年にかけて、実施保
育所23施設に通わせている
保護者を対象にアンケート

を実施したところ88%の保
護者が小中学校での実施を
希望していると回答してい

いないといっています。
京都市では10年前から市

内全市立小学校でフッ化物
洗口の実施に取り組んでい
ます。教育委員会に歯科衛

生士を常勤させるほどの徹
底ぶりです。政令市で一番
出生率が高い川崎市である
からこそ、小中学校での実
施を考えるべきです。

野田まさゆき



- 平成27年初当選
- 総務委員会所属
- 昭和44年生まれ
- 日本大学理工学部卒
- 東急グループで17年間勤務
- 衆議院議員公設秘書

公式サイト noda.co

フッ化物洗口とは？

フッ素の水でブクブクうがいをするだけの簡単な方法で、安全でむし歯予防に大変効果的です。歯を丈夫にする、初期のむし歯の進行を抑える、むし歯菌の活動を抑制するなどの効果があります。

フッ化物洗口の有効性は？ 川崎市健康福祉局長の答弁

永久歯の奥歯が生えるころから開始し、長期間継続することにより、確実な予防効果が得られる

京都市での導入経緯と考察

出典：学校におけるフッ化物洗口マニュアル(H29.10)

多様化した現代の食生活をはじめとする生活習慣のもとでは、従来のブラッシングを主体としたむし歯予防だけでは限界

○平成17年から3年間をかけて
平成20年より全市立小学校で導入

○12歳児のむし歯経験指数の推移
平成17年(取組開始) 1.52本

平成28年(取組から10年) 0.57本
この数値は各校での10年間の熱心な取組の成果が現れたものと高く評価

野田まさゆき
新春のつどい
日時 平成30年2月16日(金)
午後6時30分より
会場 川崎市産業振興会館
会費 3,000円